

所在地：①勝海舟記念館：南千束2-3-1 ②勝海舟夫妻墓所：洗足池公園内

交通アクセス：東急池上線洗足池駅から徒歩6分

① 勝海舟記念館開館時間：10：00～18：00 休館日：月曜日（詳細は右二次元コード）

② 勝海舟夫妻墓所：常時公開



勝海舟夫妻墓所



勝海舟記念館（旧清明文庫）

勝海舟（以降、海舟）は新政府軍が江戸に進軍した際、薩摩藩邸における西郷隆盛との会見を含め、江戸城無血開城を実現させたことなどで有名です。海舟は会談のため池上本門寺へ向かう途中、洗足池で休息をとったところ、その景観を気に入り、池畔（現在の大森第六中学校の位置）に「洗足軒」という別荘を建てました。その後、海舟の「洗足池の畔に葬ってほしい」との遺言どおり、洗足軒の裏に生前自ら用意していた墓所へ埋葬され、のちに青山墓地から改葬された妻のたみ（民子）のお墓とともに、現在、区指定史跡「勝海舟夫妻墓所」として公開されています。

そのすぐ脇には、明治12年（1879）に海舟が私費で建立した西郷南洲留魂詩碑、海舟と西郷をしのぶ詩が刻まれた徳富蘇峰詩碑（両雄詠嘆之詩碑）、数々の名士が賛同して奉納された水盤などの石造物が残っており、海舟の人望や様々な人物との交流が伺えます。

大正9年（1920）、海舟の遺蹟の保存と図書収集・閲覧を目的とした財団法人清明会が発足し、海舟の遺族から洗足軒とその隣地の寄贈を受けると、昭和3年（1928）に講堂兼図書室を建て、同8年に「清明文庫」として開館させました。建物の外観はネオゴシックスタイル、内部はアールデコ調の彫物やモザイクタイルが目をひく洋風の建築で、平成12年（2000）に国登録有形文化財に指定されました。平成24年（2012）には大田区が土地を取得し、令和元年（2019）に勝海舟記念館としてリニューアルオープンしました。記念館では、昭和初期の会館建築とともに、豊富な海舟関連の資料を見ることができます。